



平和ってなに？

～戦争を知って平和を考えよう・児童書版～



7月12日は「宇都宮市平和の日」

7月12日～8月15日は「宇都宮市平和月間」です

宇都宮市では、宇都宮空襲があった7月12日を「宇都宮市平和の日」、7月12日から終戦の日の8月15日までを「宇都宮市平和月間」と定め、戦争の悲惨さや平和の大切さを伝えています。

みなさんに読んでほしい、平和を考えるための図書のリストを作成しました。どうぞご利用ください。

	タイトル	そのときぼくは9さいだった			原爆でお母さんと弟を亡くし、一人ぼっちになってしまった「ぼく」を助けてくれたのは、「ぼく」の家の2階で暮らしていた朝鮮半島（現在の韓国・ソウル）出身の金さんだった。広島爆心地500メートル以内で被爆した最後の生存者である友田典弘さんが小学4年生のときに体験したお話。
	著者	あごう しゅうじ／ぶん 小泉 るみ子／え			
	出版社	新日本出版社			
	分類	E01/ア	出版年	2025年	
	所蔵館	中央・東・南			

	タイトル	ONE DAY ホロコーストと闘いつづけた父と息子の実話			ユダヤ人のユージンとその父の実話をもとに、ホロコーストへの恐怖と惨劇、闘いを描いた一冊。「その日をきりぬけたら、つぎの日をきりぬける。その日、一日だけ。その日を終えたら、またつぎの一日を。」作中で何度も繰り返されるこの言葉から、平和について考えさせられます。
	著者	マイケル・ローゼン／文 ベンジャミン・フィリップス／絵 横山 和江／訳			
	出版社	鈴木出版			
	分類	E01/ロ	出版年	2025年	
	所蔵館	中央・東・南			

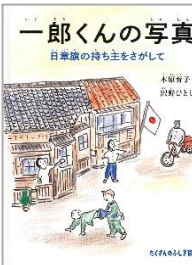
	タイトル	シリアの秘密の図書館			シリアという国の、ダマスカスという町に実在した図書館をモデルとした絵本です。内戦により破壊された町で、主人公のヌールとアミールは一冊ずつ本を拾い上げ、「夜明け」という名前の図書館をつくります。戦争の悲惨さと本の力を、ともに伝える物語です。
	著者	ワファール・タルノーフスカ／作 ヴァリ・ミンツィ／絵 原田勝／訳			
	出版社	くもん出版			
	分類	E02/タ	出版年	2025年	
	所蔵館	中央・東・南			

	タイトル	空はみんなのもの			シンプルな言葉で読む人に問いかける絵本。空はみんなの空で、どこまでもつづいているのに大地は…。なぜ争いが続くのか、どうしたら争いが終わるのか考えさせられます。また、シンプルな言葉だからこそ心に響きます。第9回日本子どもの本研究会 作品賞受賞。
	著者	ジャンニ・ロダーリ／文 関口 英子／訳 荒井 良二／絵			
	出版社	ほるぷ出版			
	分類	E04/ロ	出版年	2024年	
	所蔵館	中央・東・南・上河内			

	タイトル	しずくと祈り 「人影の石」の真実			「人影の石」…それは原爆によって、銀行前の石段に残された黒い人の影をうつした石。この人影は一体誰のものなのか？どうしてここにいたのか？ 被爆2世であり、「人影」と思われる方の親戚にあたる著者が、4世代にわたり、真実を追い求める家族の姿を描く。
	著者	朽木 祥／作			
	出版社	小学館			
	分類	913/クツ	出版年	2025年	
	所蔵館	中央・東・南			

	タイトル	ひろしま絵日記			小学2年のみなみちゃんが、夏休みにおばあちゃんの家への押し入れの奥から見つけたのは、おばあちゃんの妹が2年生の頃に書いた日記。80年前の8月6日、妹は学校から帰らなかった。おばあちゃんは、今でも妹の帰りを待ち続けている。
	著者	中澤 晶子／作 ささめや ゆき／絵			
	出版社	小峰書店			
	分類	913/ナカ	出版年	2025年	
	所蔵館	中央・東・南・上河内・河内			

	タイトル	タイムトンネルを見つけた夏			ヒマな夏休みを過ごしていたヒロといとこのカズヤ。ある日、姉のユリから近所の山に不思議な場所があるという噂を聞き、探検に行くと、そこは第二次世界対戦中に作られた防空壕の跡だった。実際のエピソードをもとに、戦争が残したものからうまれた物語。
	著者	横田 明子／作 本田 亮／絵			
	出版社	あかね書房			
	分類	913/ヨコ	出版年	2025年	
	所蔵館	中央・東・南・上河内・河内			

	タイトル	一郎くんの写真 日章旗の持ち主をさがして			親しい人たちの名前を寄せ書きして作った「日章旗」は、戦地に旅立つ兵隊さんにおくったお守りのようなもの。戦後70年、“一郎君へ”と書かれた日章旗がアメリカで見つかった。59人の寄せ書きの名前だけを手がかりに、ひとりの新聞記者が“一郎君とはどんな人だったのか”にたどり着くまでの事実を基にしたお話。
	著者	木原 育子／文 沢野 ひとし／絵			
	出版社	福音館書店			
	分類	916/キ	出版年	2025年	
	所蔵館	中央・東・南			

	タイトル	1945年8月6日あさ8時15分、わたしは			本書は、原爆の被害を経験した子供のたちの作文をもとに作られた絵本です。子どもたちが被った苦しみを経験したことにさせないために、子どもたち自身の言葉を記録し、伝える一冊。	
	著者	原爆を体験した子どもたち／言葉 岩崎 ちひろ／絵				
	出版社	童心社				
	分類	916/ゲ	出版年	2025年		
	所蔵館	中央・東・南・上河内・河内				

発行 令和8年7月 編集・発行 宇都宮市立図書館
問合せ 宇都宮市立中央図書館 〒320-0845 宇都宮市明保野町7-57 電話 028-636-0231